2023年度　会津柳津学園中学校

自立・貢献・挑戦

柳学中 Times 2nd

教育目標
「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」
令和５年９月８日（金）発行
第19号　発行責任者：高橋　哲郎

全会津中体連駅伝競走大会

堂々の男子３３位、女子２０位

７日（木）、第７１回全会津中学校体育大会駅伝競走大会が、快晴の中今年初めて下郷町大川ふるさと公園内駅伝コースを会場に開催されました。参加した生徒はこれまで、今までにない猛暑の中、大粒の汗を流しながら粘り強く練習してきました。まずはその取り組みに拍手を送ります。また、今年は男女ともに出場４１チームのうち、本校より規模の大きい学校も含めたくさんのチームが人数不足等によりオープン参加となりました。本校は、全校生徒数が多いとは言えませんが、つらいけどやってみようと参加した生徒がたくさんいたこと、本当に素晴らしいと思います。結果は男子が３３位（３５チーム中）、女子が２０位（２９チーム中）。男子はアクシデントがありながらも最後までタスキをつなぎ、女子は、目標順位を大きく上回ることができました。どちらも最後まで力走してくれた姿、そして走って場所を移動しながら応援した姿が印象的でした。本当にお疲れ様でした。また、応援いただきました皆様、本当にありがとうございました。

＜参加選手＞

◎男子　　１区　新井田真宙　　２区　鈴木　　遼　　３区　飯塚　玲音
　　４区　金子　星護　　５区　小林　　巧　　６区　白井　悠人
　　（サポート　芳賀　柊斗、鈴木虎太郎、佐々木虎太郎、鈴木　頼明、長谷川　遙）

◎女子　　１区　オヌオラ　ミシェル　　２区　牧野　友香　　３区　齋藤絵里子
　　４区　齋藤ひなた　　５区　渡部　愛琳
　　（サポート　鈴木詩乃、鎌田美優）

選手を代表して、男女１区とアンカーの計４人の感想を掲載します。

僕は最後の駅伝大会で、部長として１区を走ることになりました。全力を出し切り、１秒でも早く次のランナーに襷を渡そうと意気込んでいましたが、スタート直後に足をつってしまいました。痛みでしばらく走り出せませんでしたが、「チームを棄権させたくない」という思いで再び走り、２区に襷をつなぐことができました。自分の走りは不甲斐ない結果に終わってしまいましたが、２区から６区を走ってくれたランナー、そして沿道で応援してくれた駅伝メンバー全員のおかげで、ゴールまで襷を繋げられて本当に良かったです。　【男子１区　３年　新井田真宙】

僕は、アンカーという重要な役を任されました。当日は、男子のレースが近づくとだんだん緊張してきました。男子のレースがスタートしました。ついに自分の時が来ました。１区で真宙さんが足をつってしまいとても悔しそうだったため、自分が良い走りをして挽回しようと思いました。僕は勢いよくスタートしました。しかし、スタートしてからしばらくのところで、自分も足をつってしまいました。何とかストレッチをしながら走り切りました。良い走りをしたかったので、レースの入り方をもっとちゃんとしていれば防げたので悔しかったです。僕は大会を終え、理想としていた走りはできませんでしたが、走り切れてよかったと思っています。この先やる機会があるならば、もっと速く走れるようにしたいです。　【男子６区　３年　白井　悠人】

私は今年初めて駅伝大会に参加し、１区を走りました。１区は３キロあったけれど、今まで走った３キロより距離が長く感じました。私は、走っているときに周りのペースにつられてしまい、自分のペースで走ることができず何人かに抜かれてしまったけれど、みんなの応援で前に進むことができ最後まで頑張ることができました。最後の芝生では足が重くなり進むのが大変だったけれど、襷を２区につなげることができました。その後はみんなが頑張って走ってくれたおかげで順位が上がり、２０位となりました。みんなでいい結果を残せたのでよかったです。来年は個人の順位を上げられるように練習をさらに頑張りたいです。　【女子１区　２年　オヌオラ　ミシェル】

選手として出場する２回目の駅伝大会。私は２回目のアンカーになりました。今年は今までと違う会場になり坂が多いコースでした。私は坂が苦手なので最後まで走り切れるか心配でしたが、たくさんの人の応援のおかげで、無事に最後まで走り切ることができました。毎日の練習はとてもきつかったけれど、みんなで襷をつなぎゴールした時は、頑張ってよかったと心から思いました。また、悔いのない走りができたので良かったです。３年間やっていた駅伝部で、私は諦めない心を強くすることができたと思います。駅伝で学んだたくさんのことを、これからの生活で生かしていきたいです。

【女子５区　３年　渡部　愛琳】